

第38期（平成28年3月期） 決算説明会資料

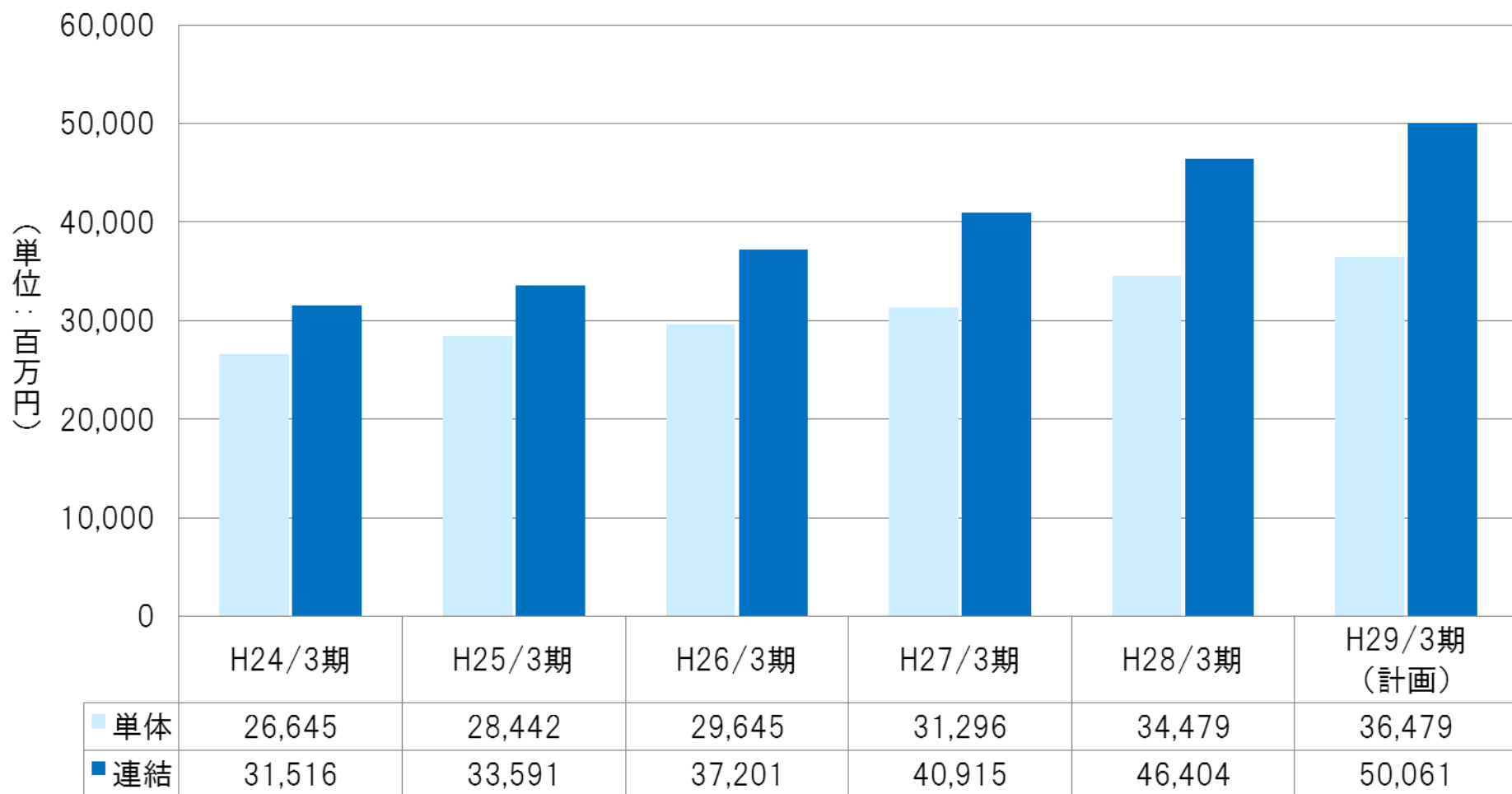
平成28年5月12日



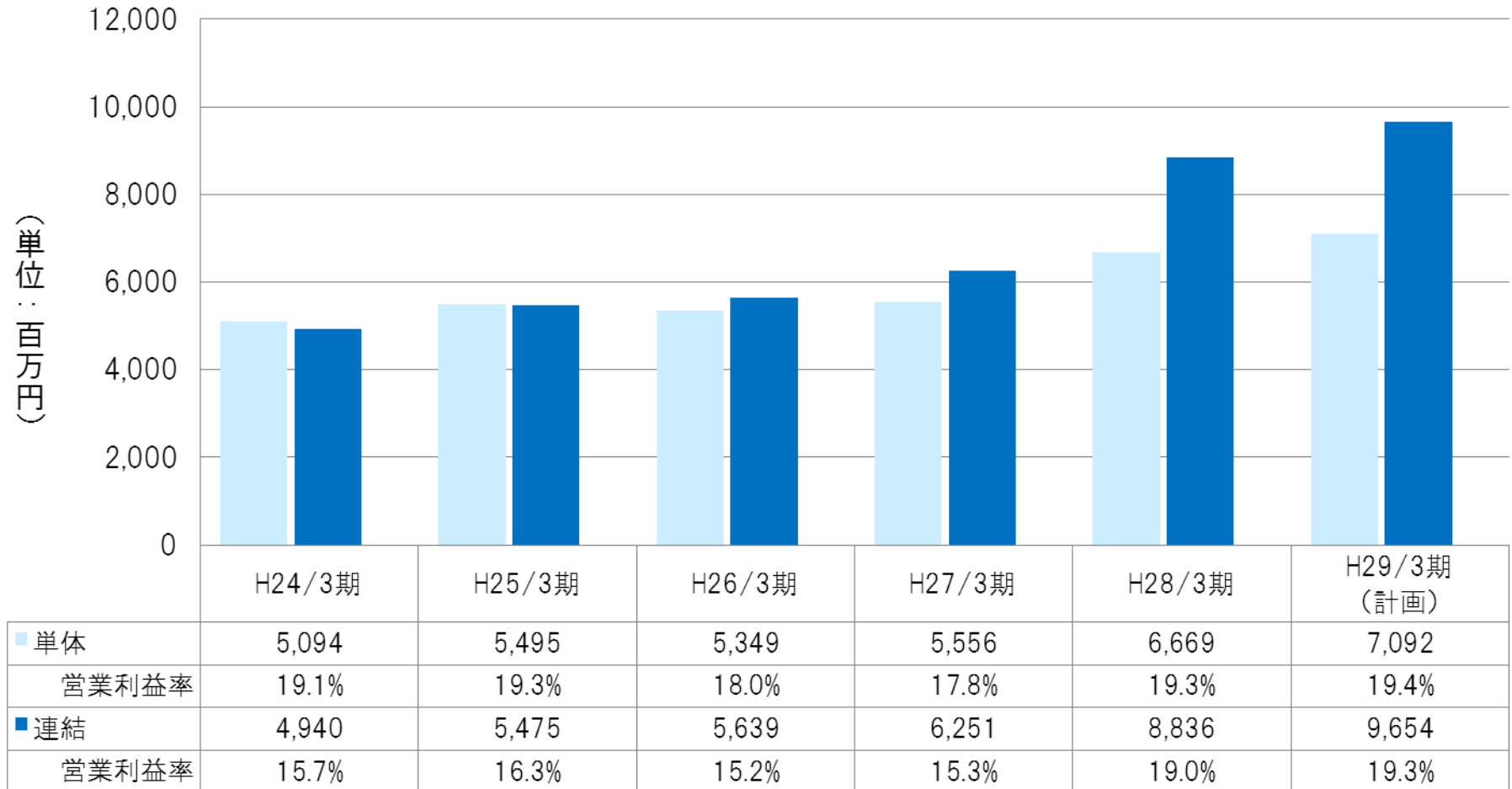
目次

- 02. 売上高の推移（単体・連結）
- 03. 営業利益の推移（単体・連結）
- 04. 経常利益の推移（単体・連結）
- 05. 当期純利益の推移（単体・連結）
- 06. 前期比較 単体事業の概要
- 07. // （利益変動要因）
- 08. 計画比較 単体事業の概要
- 09. // （利益変動要因）
- 10. 主要子会社の概要
- 11. 地域別実績（連結）
- 12. 地域別計画（連結）
- 13. 今後の事業計画 ①
- 14. 今後の事業計画 ②
- 15. メモ
- 16. 設備投資の推移（連結・単体）
- 17. 減価償却費の推移（連結・単体）
- 18. アリアケグループ「世界8極体制」

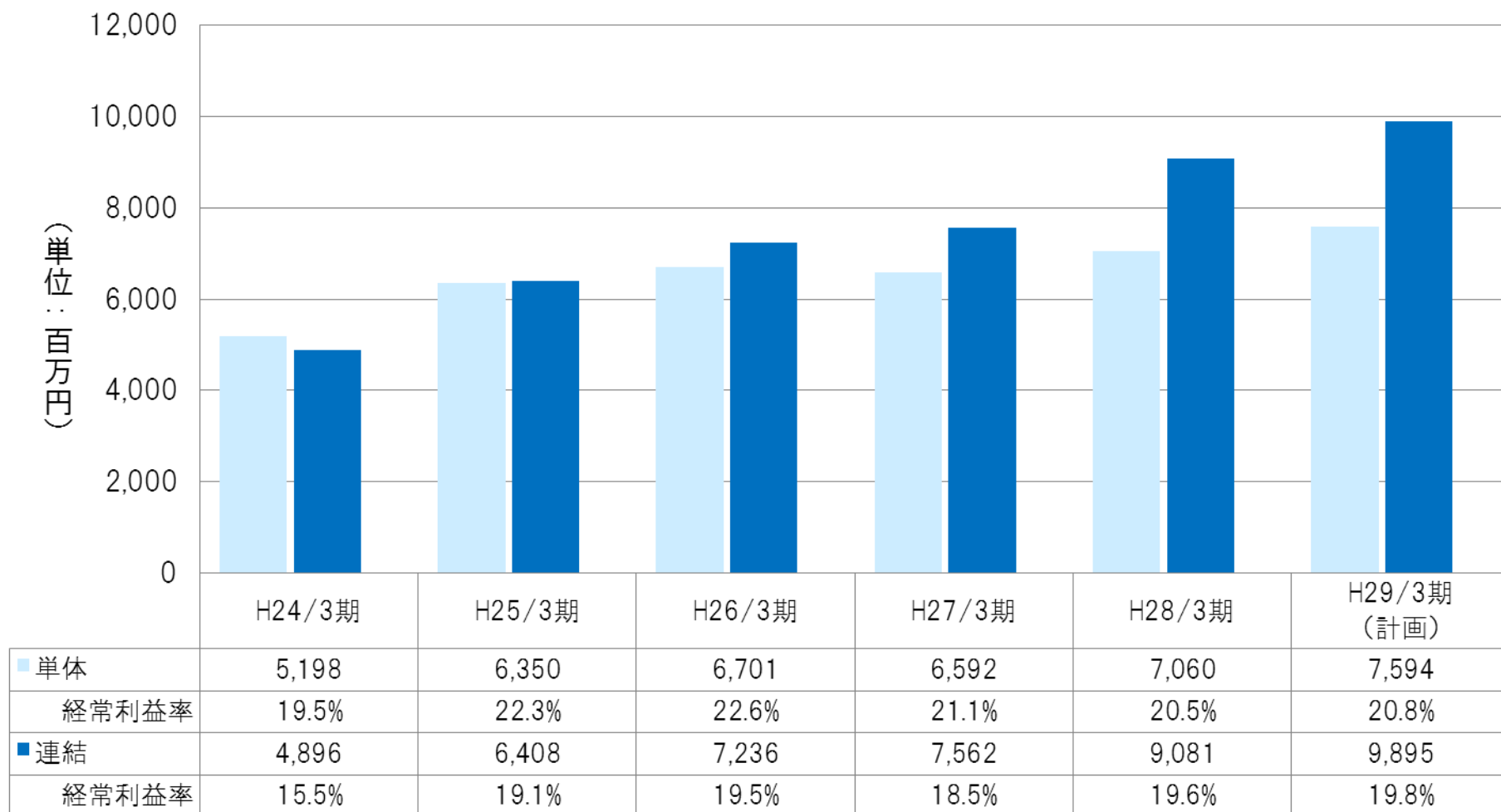
売上高の推移（単体・連結）



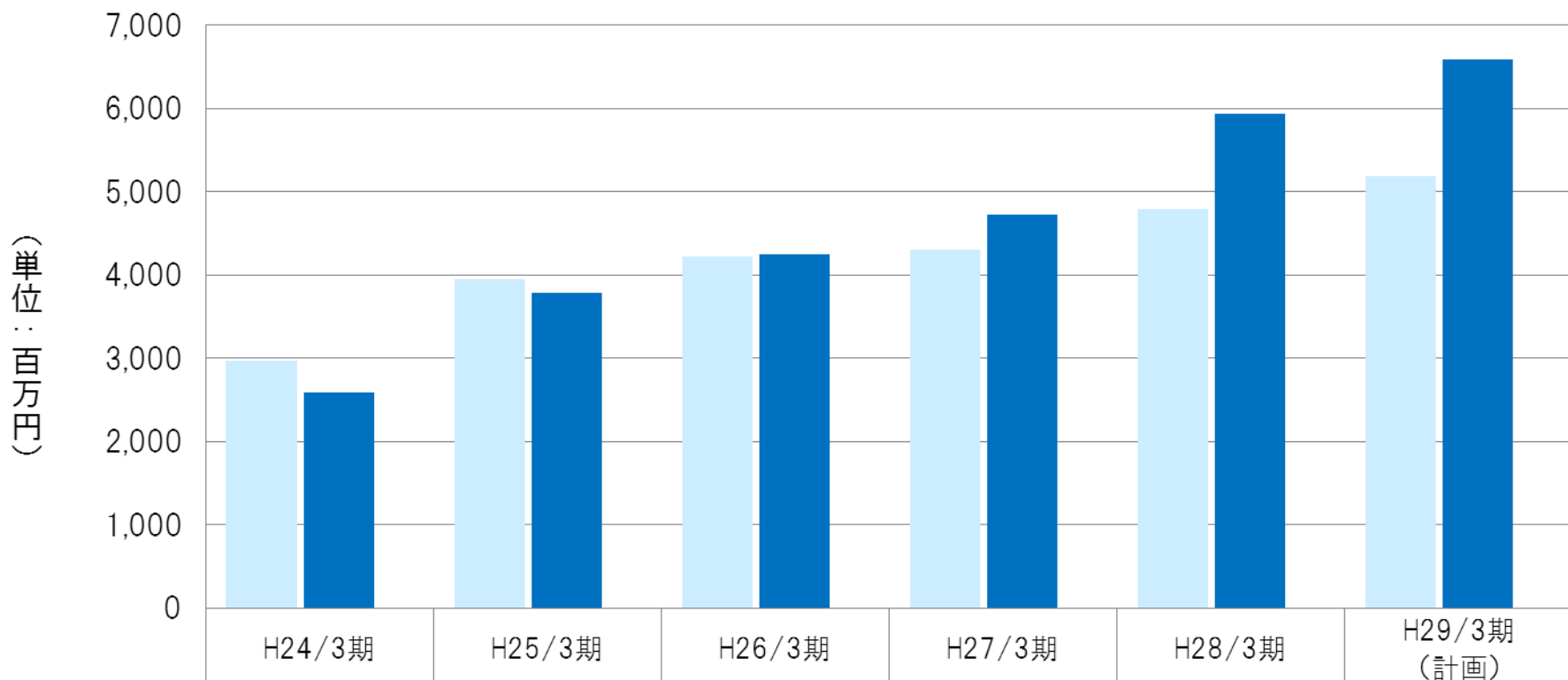
営業利益の推移（単体・連結）



経常利益の推移（単体・連結）



親会社株主に帰属する
当期純利益の推移（単体・連結）



■ 単体	2,967	3,948	4,224	4,299	4,798	5,192
当期純利益率	11.1%	13.9%	14.3%	13.7%	11.6%	14.2%
■ 連結	2,586	3,788	4,252	4,725	5,939	6,592
当期純利益率	8.2%	11.3%	11.4%	11.5%	12.8%	13.2%

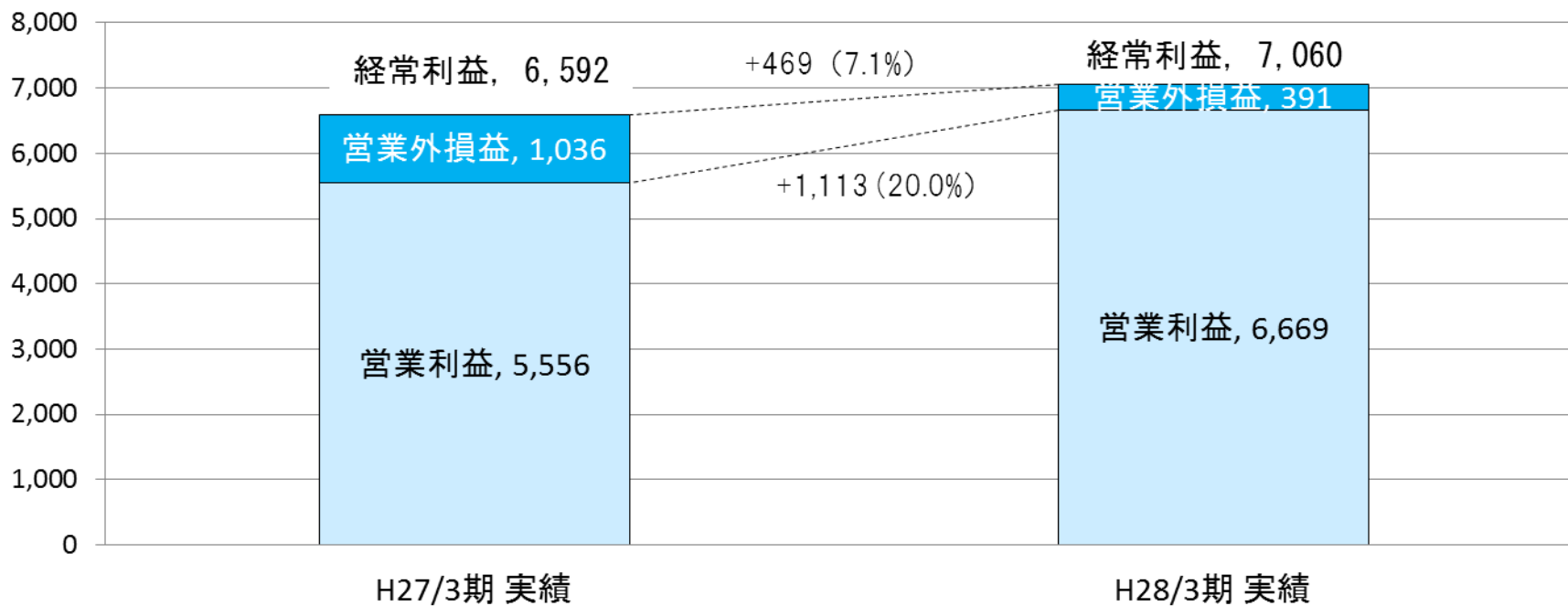
【前期比較】 単体業績の概要

■売上高

単体の売上高は34,479百万円、前年同期比3,183百万円増(10.2%増)となりました。

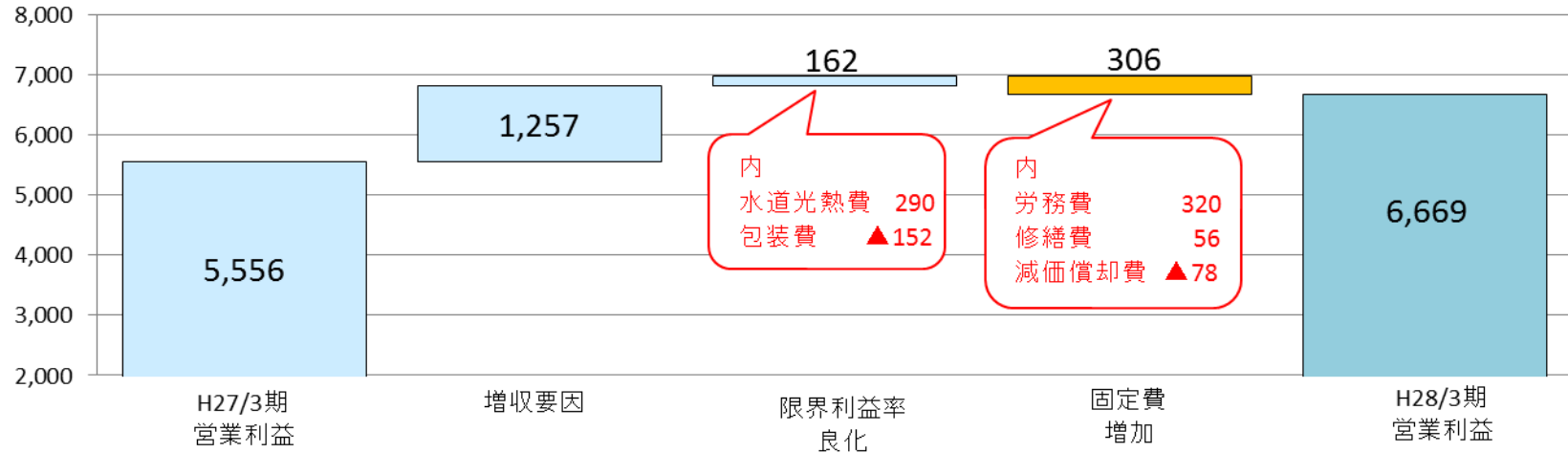
■利益

(単位：百万円)



【前期比較】 単体業績の概要（利益変動要因）

■ 営業利益 …前年比1,113百万円(20.0%)増加の6,669百万円



(単位：百万円)

■ 経常利益 …前年比469百万円（7.1%）増加

増加要因	営業利益増加	1,113
減少要因	営業外収支	△617
	金融収支	△27
合計		469

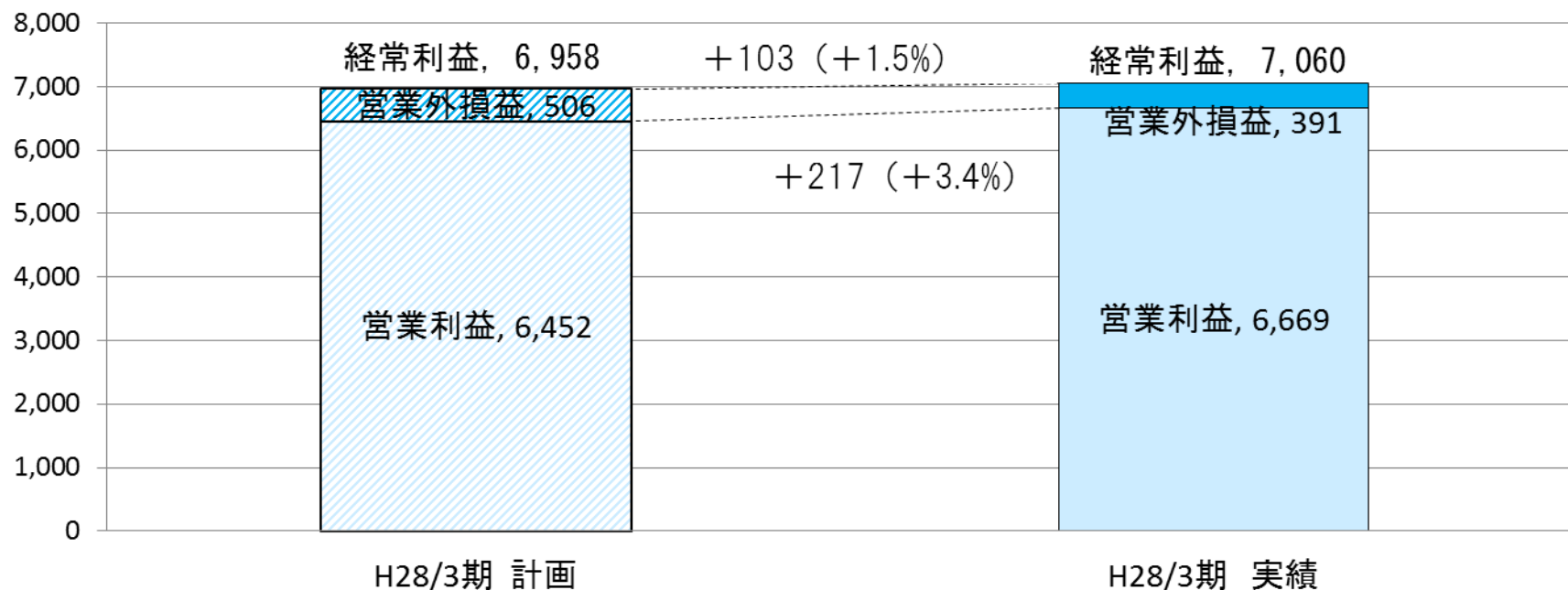
【計画比較】 単体業績の概要

■売上高

単体の売上高は計画比217百万円の減少となりました。

■利益

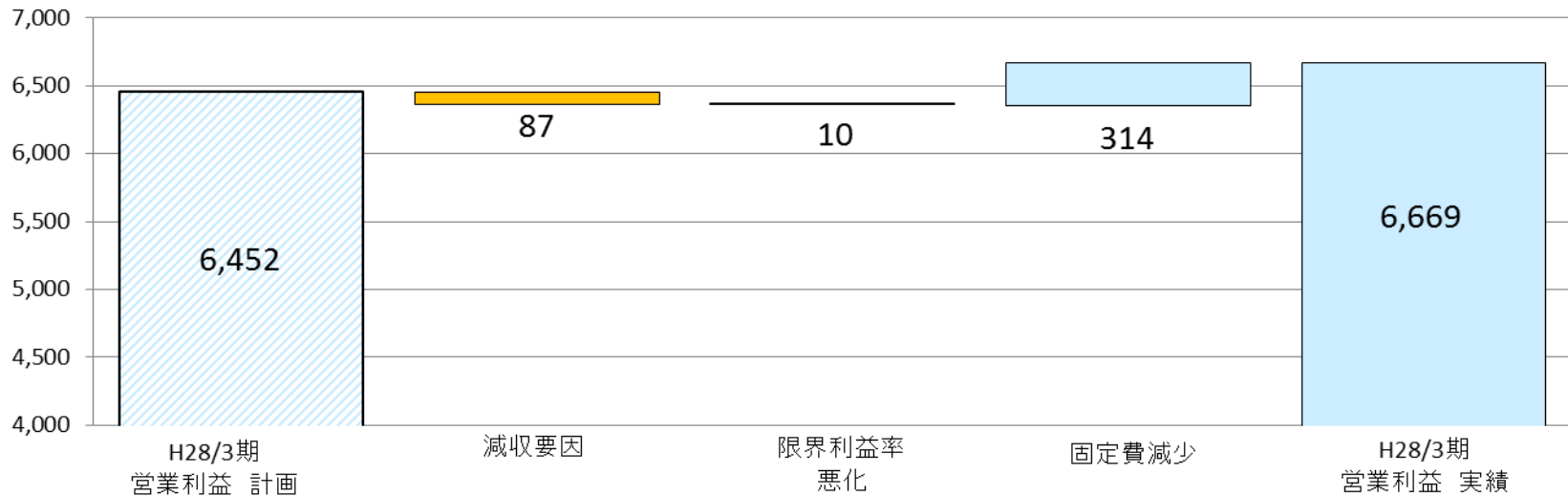
(単位：百万円)



【計画比較】 単体業績の概要（利益変動要因）

■ 営業利益 …計画比217百万円(3.4%)増加の6,669百万円

(単位：百万円)



■ 経常利益 …計画比103百万円(1.5%)増

(単位：百万円)

増加要因	営業利益増加	217
減少要因	営業外収支	△114
合計		103

主要な子会社の概要

□ 主要子会社

◆ 米国

既存食品メーカーからの受注増が売上を牽引し増収。前年コスト増の要因となった燃料費や原料費の高騰は落ち着き、利益が大幅に改善しました。

◆ アジア

中国は既存食品加工メーカーからの受注増により増収・増益となりました。台湾は主に同国の外食向け受注増により増収・増益となりました。

◆ 欧州

フランスとオランダの売上増及び、一昨年実施したベルギーの合理化効果が寄与し、現地通貨ベースでは増収・増益でした。（円換算後は減収）
利益については、現地通貨ベースで黒字化を実現、連結調整後（円換算）では▲0.3億円でした。

◆ 日本

日本の子会社は、ほぼ前年並みでした。

地域別実績（連結）

（単位：億円）

	売上高					営業損益				
	平成 28/3期 (A)	平成 27/3期 (B)	差額 (A-B)	平成 28/3期 計画(C)	差額 (A-C)	平成 28/3期 (A)	平成 27/3期 (B)	差額 (A-B)	平成 28/3期 計画(C)	差額 (A-C)
アリアケシ`ャハ`ン	344.8	313.0	31.8	347.0	△2.2	66.7	55.6	11.1	64.5	2.2
子会社計※	119.3	96.2	23.1	113.1	6.2	21.7	7.0	14.7	14.8	6.9
米 国	44.0	27.0	17.0	36.2	7.8	9.6	3.1	6.5	4.7	4.9
ア ジ ア	43.0	36.3	6.7	44.0	△1.0	12.2	8.2	4.0	8.9	3.3
欧 州	28.6	29.3	△0.7	29.1	△0.5	△0.3	△4.5	4.2	1.0	△1.3
日 本	3.6	3.6	0.0	3.8	△0.2	0.2	0.2	0.0	0.2	0.0
合 計	464.0	409.2	54.8	460.1	3.9	88.4	62.6	25.8	79.3	9.1

※ 子会社は連結調整後

USD	120.6	120.5	120.0
EUR	131.8	146.5	130.0

地域別計画（連結）

（単位：億円）

	売上高			営業損益		
	平成29/3期 計画 (A)	平成28/3期 実績 (B)	差 額 (A-B)	平成29/3期 計画 (A)	平成28/3期 実績 (B)	差 額 (A-B)
アリアケシ ャハ ン	364.8	344.8	20.0	70.9	66.7	4.2
子 会 社 計 ※	135.8	119.3	16.5	25.6	21.7	3.9
米 国	46.2	44.0	2.2	9.8	9.6	0.2
ア ジ ア	49.6	43.0	6.6	12.6	12.2	0.4
欧 州	36.2	28.6	7.6	3.0	△0.3	3.3
日 本	3.8	3.6	0.2	0.2	0.2	0.0
合 計	500.6	464.0	36.6	96.5	88.4	8.1

※ 子会社は連結調整後

USD	110.0	120.6
EUR	125.0	131.8

今後の事業計画①

(単位:億円)

		実 績				計 画		
		平成25/3期	平成26/3期	平成27/3期	平成28/3期	平成29/3期	平成30/3期	平成31/3期
売上高	単 体	284	296	313	345	365	385	405
	連 子 会 結 社	74	96	124	144	156	184	215
	連 結 調 整	△23	△20	△28	△25	△20	△25	△30
	連 売 上 結 高	335	372	409	464	501	544	590
営業損益	単 体	54	53	56	67	71	75	79
	連 子 会 結 社	0	3	7	21	26	33	39
	連 営 業 損 益	54	56	63	88	97	108	118

今後の事業計画②

(売上高はいずれも連結調整前のものです)

1. アリアケジャパン株式会社

国内での新たなマーケットにも注力し平成30年3月期の売上高は385億円を目指します。平成31年3月期の売上高は405億円を計画しており営業利益率は19.5%を予想します。

2. 米 国

更なる加工食品向けの販売強化の他、外食向けにも拡販し、戦略的投資も視野に積極的な展開を図ります。平成30年3月期の売上高は58億円、平成31年3月期の売上高は67億円を目指します。

3. アジア

中国は、各業種にわたって売上を伸ばし、平成30年3月期の売上高43億円、平成31年3月期は48億円を目指します。

台湾は、需要が旺盛な外食向けの販促を強化し、平成30年3月期の売上高22億円、平成31年3月期は26億円を目指します。

4. 欧 州

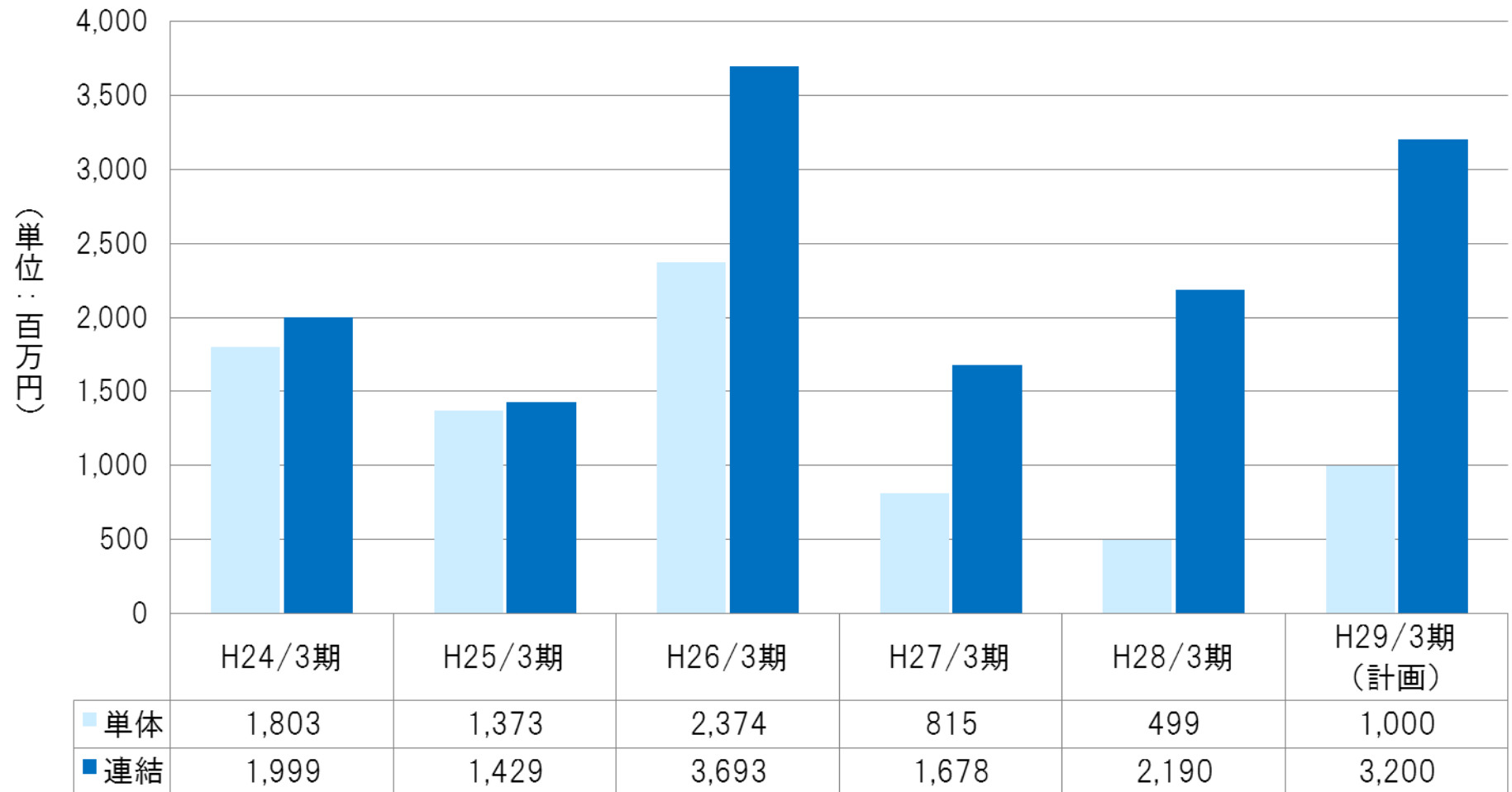
平成30年3月期の欧州合計の売上高は50億円、平成31年3月期は54億円を目指します。

欧州内での売上増強を加速させると同時に、良質な原料の更なる日本への供給量増と、平成29年稼働予定のインドネシア工場への供給を図っていきます。

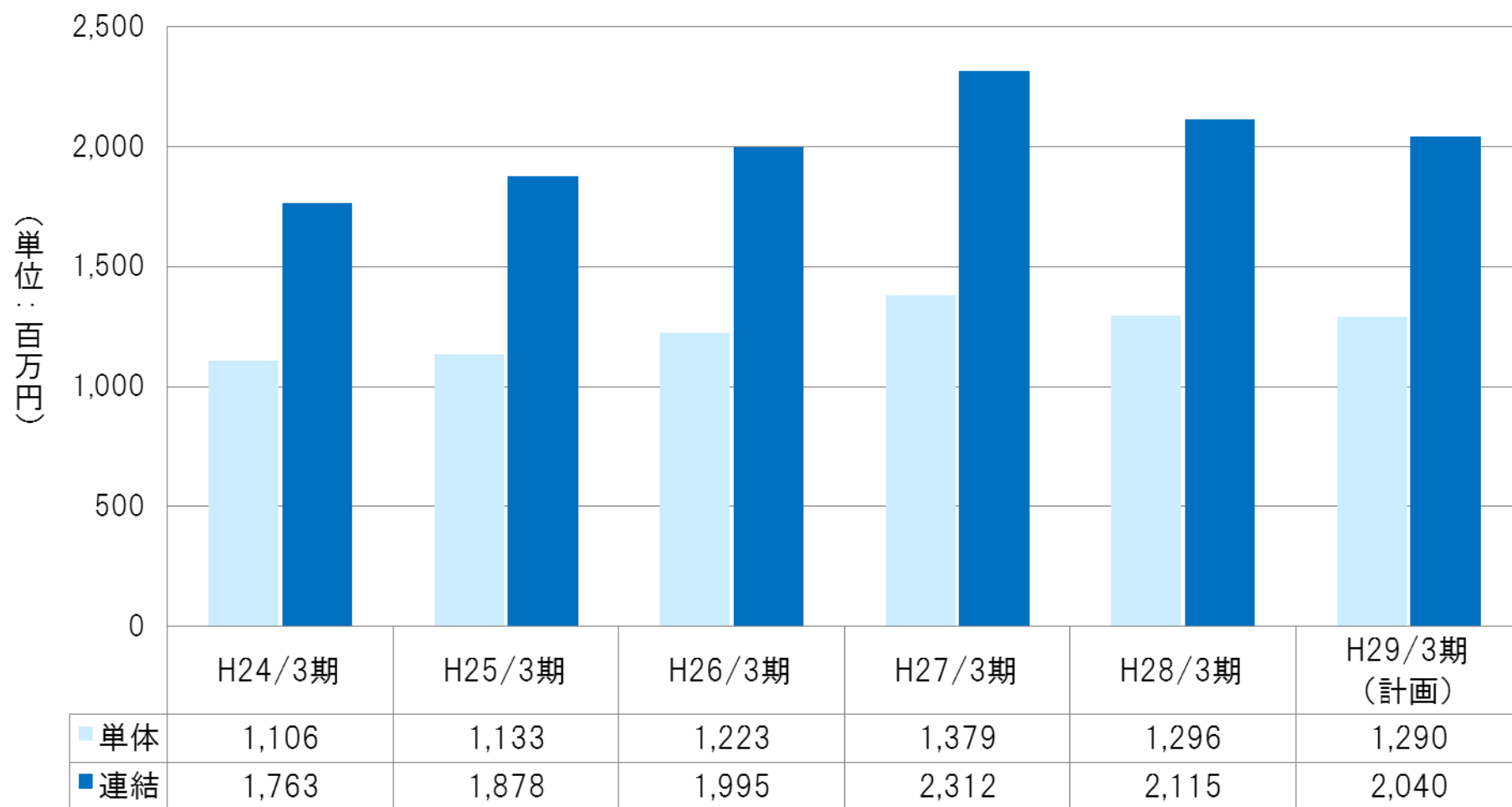
メ 毛

This page is intentionally left blank

設備投資の推移（連結・単体）



減価償却費の推移（連結・単体）



アリアケグループの「世界8極体制」



本資料は、会社内容をご理解いただくための資料であり、投資勧誘を目的とするものではありません。

本資料に記載されている業績予想（計画）及び、将来の予測につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。予想（計画）にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績は異なる場合があります。

本日は、ご清聴有難うございました。

今後のお問い合わせは、こちらまでお願いいたします。

アリアケジャパン株式会社 経営管理室

TEL 03-3791-3301